

おかざき・とよはしまちなかミーティング

あいちトリエンナーレ 2016 の会場として、まちなかの中心でアートの展示が行われている岡崎市、豊橋市では、地域ぐるみでさまざまな取り組みが行われています。

来場者をもてなすアイデアや、トリエンナーレをきっかけにした派生イベントなど、それぞれのまちでなにが起こっているか、ふたつの市から実際に活動に取り組む方をお招きしてお話いただきます。

日時 | 2016.10.10(月・祝) 16:30-18:00

会場 | 岡崎シビコ1階

岡崎市康生通西2丁目20-2

主催 | あいちトリエンナーレ 2016 岡崎会場実行委員会

運営 | 岡崎アートコミュニティ推進協議会

入場無料 申込不要

不明な点はお問合せください

電話 :0564-23-6976 e-mail:triennale@city.okazaki.lg.jp

登壇者

黒野 有一郎 (豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議)

2004年より始まった都市型アートイベント「sebone」に参加。現在、水上ビルの商店街理事長を務めるほか、豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議「トリエンナーレとよはし部会」を主導している。

加藤 慶 (あいちトリエンナーレ 2016 アシスタントキュレーター)

2008年～2015年相模原市民ギャラリー、アートラボはしもと勤務。近年では、「Super Open Studio DRIVE! (黄金町バザール 2014)、ズンマチャングのかけら箱 (六本木アートナイト 2015)」などを企画。



T O Y O H A S H I



O K A Z A K I



天野 めぐみ (KAGODA WONDER PARK 88 フェス実行委員会)

2008年から籠田公園に市民が集える芝生を造成し、手作り市を開催する。今年はアーティスト、八丁味噌蔵とのコラボレーションで、ミソスープスタンド 8830 を結成。同時に籠田公園で 88 フェスを主催。

石田 大祐 (岡崎市 あいちトリエンナーレ 2016 担当学芸員)

安曇野市職員 (~2013) を経て、特定非営利活動法人 SCOP に勤める。並行して、現代美術展等の企画を行う。主な企画として「第 13 回まつしる現代美術フェスティバル」(2014)、「安曇野芸術実践」(2015) など。

